

令和6年度事務事業の評価の状況

1. 目的

第十一次総合計画及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「総合戦略」という。）にひもづく事業の進捗状況を把握し、計画に掲げる目標の達成にむけ、PDCAサイクルにより事務事業の改善を図ることを目的に、令和7年度に向けて事務事業の評価を実施しました。

2. 評価のプロセス

(1) 一次評価

全ての政策的事務事業を対象に事業所管課において、目標指標の推移や本年度の事業の実施状況を踏まえ、必要性、有効性、効率性の観点から一次評価を実施しました。

(2) 二次評価

事業所管課の一次評価をもとに、特に総合戦略に係る重点プロジェクト関連事業を中心にヒアリングを行い、「継続」「改善」「縮小」「廃止」の4つの評価区分を設け、評価を実施しました。また、改善の方向性についても検討を行いました。

3. 二次評価の結果（評価区分ごとの事業数）

評価区分	内容・次年度の方向性	事業数	参考 (R5)
充実 継続	十分な成果が出ており、施策推進の観点から更なる充実を図る 現状のやり方を基本とし、改良が必要な点は見直しを行いながら、事業を継続するもの	108	100
改善	事業費や事業の手法を再検討し、事業の費用対効果の向上を図るもの	35	42
縮小	事業費を縮減するもの	0	0
廃止	事業を実施しないもの	0	0

4. 行政改革推進委員会における外部評価について

令和6年度の委員会においては、改善となっている事業のうち、2年以上改善すべきと評価が続いている事業について、改善に係る助言等をいただきました。